



成隣だより

令和6年9月27日
第7号
昭島市立成隣小学校
校長 松川 靖弘
TEL 042-541-0068



HPはこちら



秋の日はつるべ落とし

副校長 川上卓哉

暑い日が続きますが、朝晩は涼しい風が心地よい季節となりました。皆さんは秋の訪れをどのように感じているのでしょうか。2学期が始まって1か月が経ち、学校生活にも一段と慣れ、日々の学びに力を注いでいることと思います。

10月は、学校生活でもさまざまな行事が行われる月です。10月5日土曜日にはいよいよ運動会が行われます。学年やクラスのみならず一緒に協力し、力を合わせて活動に取り組む機会がたくさんあります。こうした行事を通じて、仲間との絆を深めるとともに、自分自身の成長を感じられることが多いでしょう。

また、秋は「実りの秋」とも呼ばれ、自然の豊かさや収穫の喜びを味わう時期でもあります。皆さんにとっても、これまでの学びが実を結ぶような季節にしていきたいものです。自分の目標に向かって一步一步進み、これまでの努力が形となる瞬間を大切にしていきましょう。

さて、秋分の日も過ぎて日が短くなってきています。「秋の日はつるべ落とし」は、日本のことわざの一つで、秋になると日が短くなり、夕方になると急に暗くなる様子を指します。

秋分を境に、太陽の高度が低くなり、昼の時間が急速に短くなっていきます。特に日本のような中緯度地域では、秋分を過ぎると太陽が沈む速度が速くなり、夕方が急に暗くなる現象が顕著に感じられます。

ここから、井戸のつるべ(水を汲み上げる道具)が急に落ちるように、秋の夕暮れが一気に暗くなるということを表現して「秋の日はつるべ落とし」と言われています。

明るいからまだ大丈夫と思って夕方遅くまで遊んでいると、あっという間に日が落ちて周囲が真っ暗になってしまいます。暗くなると防犯上や交通安全上で心配な面が多くあります。また、子供だけでなく車を運転している大人にとっても、この時期は大変に危険です。急に暗くなったところで身長の高い子供を車から見つけにくくなる危険もあります。

昭島市では夕方に防災無線でチャイムが鳴ります。10月からは16時に鳴ります。チャイムが鳴ったら自宅に帰るようにしましょう。ご家庭でもお子様とお話いただければ幸いです。

